



木下兄弟 株式会社
代表取締役

木下 祐二

大手メーカーでは難しい「低価格」「スピード対応」「地域密着」をモットーにパソコン・ITのあらゆる相談に対応している『システムサポート』。運営会社『木下兄弟』の木下社長は、かつて家族の写真データを消失した自身の経験からIT関連事業の中でも特にデータ復旧・保護・防衛に注力している。「自分のようなつらい思いをする人がいなくなってほしい」——社長の切なる願いは今、多くの人や企業のデータ保全の一助となっている。

**「パソコンで困る人や企業をなくす。
それが創業時から掲げる目標です」**

ITの「困った!」を解決する 低価格とスピード対応で

代表取締役 木下 祐二 × タレント 野村 将希

木下兄弟 株式会社 システムサポート

【八代営業所】
熊本県八代市通町 1-31 1F

URL : <https://systems-support.jp>



パソコンの修理をはじめ、データ保護・復旧、システムトラブル対応、LAN 構築や各種 OA 機器販売といったオフィス最適化などを手掛ける『システムサポート』。同店を運営する『木下兄弟』の木下社長は IT のプロとして、確かな知識と小回りの効く経営で着実に地域の人々や企業から信頼を集めている。本日は野村将希氏が社長にお話を伺った。

——『システムサポート』さんの詳しい業容をお聞かせ下さい。

モニターの故障や電源が入らないなどのパソコン修理の他、誤操作やクラッシュによって消失したデータを復元するデータ保護・復旧、システムトラブル対応、社内のネットワーク設定や保守を行うオフィス最適化などを行っています。パソコンや IT 関連でお困りの際はお気軽にご相談いただければ嬉しいです。

——パソコン・IT のプロですね。専門的な知識が要される業種ですが、木下社長が現在のお仕事を始められるまでの歩みを伺っても？

おばが佐賀県唐津市で旅館を営んでおり、そちらの若女将を務める母と、板長として働く父の間に生まれ、私は旅館の跡取り息子として育てられました。ですが、小学 6 年生の時に母が過労で倒れたため、家族で母の実家である熊本県八代市に移り住むことに。当時は景気が悪く、父がなかなか新たな仕事に就けなかったため、私は新聞配達をして高校の学費を賄っていましたね。高校卒業後は大学進学費用を貯めるべく、予備校に通いつつ

パチンコ店で働いていました。当初は 1 年だけのつもりでしたが、思いの外収入が良く、進学をやめて社会人生活を続けることを決意。その後も営業職を中心に様々な仕事に携わる中で、ビジネスフォンを販売する会社の営業マンとして入社したことが今に活かしています。

——そちらではどんなお仕事に携わっておられたのですか。

アナログ回線からデジタル回線への切替と、それに伴い必要となる電話機の販売をしていました。ちょうどインターネットが普及し始めたころで、たくさんの需要がありましたね。工事の際の社内のパソコン設定も私が行っていたので、今の仕事に必要な基礎の部分をそちらで勉強させていただきました。

——その後、独立を？

いいえ。その後は一旦通信業界を離れ、人材派遣会社でマネージャーを務めながら、人材マネジメントのノウハウを培いました。そうした中、ビジネスフォンの時代の上司が独立してバックアップソフトの開発・販売会社を立ち上げられ、私の経験を見込んで「力を貸してほしい」とお声掛け下さったことから一緒に仕事をさせていただくことに。さらに経験を積んだ後、先輩の許可を得て独立し、2014 年に当社を設立した次第です。

——こちらの強みは何ですか。

創業以来地域に密着した経営を続けており、電話一本で即日対応するスピードや機動力には自信があります。また、大手量販店に修理を頼むと見積りの高さに驚かれる方が多いですが、当店ではなるべく大手の半額以下で承っています。——今はパソコンを所有している方が少なくないですが、修理やトラブルとなるとお手上げの人も多いでしょうから助かりますね。

また、当社には得意分野がありまして、データ復旧・保護・防衛など、データに強いのです。行政書士事務所、設計事務所、製造業など専門的な業種のソフトでも対応できますので、ご安心いただけますね。

——心強いですね！ 現在でスタートから 5 年となりますが、これまでを振り返ってみていかがですか。

周囲の皆さんの支えがあってここまで歩いてこれたことができたから、感謝の念が尽きません。たとえば、当社をスタートする際、今、野村さんにお越しいただいているような店舗ではなく事務所を借りて仕事をしようと思っていました。ですが友人から商工会議所の指導員を紹介してもらい、その方に「店舗を構



えたほうが信頼されるし、地域の方に覚えてもらえるよ」とアドバイスをいただきました。実際に当店を構えたところ、多くの方に認知していただき、お客様が増えました。

——良いご縁を得られたことが今の成功につながったわけだ。

ええ。また、今は商工会以外にも様々な地域活動を続けながら人脈を広げています。加えて 3 年ほど前には世界最大の異業種交流組織『BNI』に参加。それにより日本全国の様々な職種の経営者と知り合うことができ、お互いに切磋琢磨しながら事業に取り組んでいます。その

後、八代市だけでなく熊本市からもお客様が来て下さるようになったので、今年の 7 月には熊本市内に営業所を出す予定です。そちらでも積極的に人材を雇用して成長していきたいですね。

——今後が楽しみです！ 最後に今後の展望を伺います。

私は今佐賀県唐津市に住んでいます。唐津市から一番近い都会は福岡県なので、5 年以内には福岡にも営業所を出し、お客様のお役に立つことができれば嬉しいです。そちらでは IT の中でも専門を絞り、勝負をかけていきたいと思います。
(2019 年 4 月取材)

with guest interviewer



「20 年近く様々な職種で営業マンを務めておられた木下社長。お話ししている時の物腰の柔らかさや落ち着いた話し方に、コミュニケーション能力の高さを感じましたね。パソコンで困っているお客様も社長になら何でも相談できそうですし、『システムサポート』さんが支持されるのも納得です」野村 将希・談



困っている方の手助けをしたい column

▼パソコン・IT のあらゆる困りごとに対応してくれる『システムサポート』。木下社長は起業の理由を「純粋にパソコンで困っている方の手助けがしたかった」と語り、そのきっかけの一つになった出来事を話してくれた。

▼それは 10 年前に遡る。当時社長は自分の子どもたちの成長記録としてデジカメで撮影した写真データをパソコンの中だけに保存していた。その時代は今ほどデータのバックアップなどがメジャーではなく、身近に個人でデータの保護を行う人はいなかった。そしてある日突然、社長のパソコンが起動しなくなり、写真データが全て失われてしまったという。「当時の驚きや後悔がいつまでも心に残っていました」と社長は語る。それから時が経ち、元上司からバックアップソフトの開発・販売会社への転職を誘われた時には「コレだ！」と直感。経験を積んで独立した後は、顧客のあらゆる「困った」の解決に全力で対応し、地域になくはならない存在となっている。